



Title	沖縄関係/日米協議委員会開催関係( 新聞発表   外務省外交史料館レファレンス番号 : nd )
Author(s)	-
Citation	平成27年度外交記録公開(1)   公開日 : 平成27年12月24日   外務省外交史料館管理番号 : A'3.0.0.7-1(194)   CD・DVD番号 : H27-001
Issue Date	
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43726">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43726</a>
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

新聞発表表

記事資料

(6) K  
128

外務省情報文化局  
昭和四十三年六月二十八日

沖繩に関する日米協議委員会第十四回  
会合の開催について

沖繩に関する日米協議委員会の第十四回会合は、来る七月一日

(月) 午前十時より外務省において開催されることに決定した。

なお、本委員会会合には、日本側から三木外務大臣および田中

総理府総務長官が、また米側からジョンソン駐日米国大使および

アンガー高等弁務官が出席する予定である。

大臣牧野 重

アメリカ局長 参事官

報道課長 北米課長

極秘 内部の号

米大カニク... (Vertical handwritten notes on the right margin)

沖繩に因り、日米協議委員会が第十四回会合は、  
 来々七月一日(月)午後十時より外務省において  
 開催されることに決定した。  
 なお本委員会会合には、日本側から三木外務  
 大臣および田中総理府総務長官がまた米側

米大カニク... (Vertical handwritten notes on the right margin)  
 (一) 及び海軍に内務... (Vertical handwritten notes)  
 (新開発表... (Vertical handwritten notes)  
 報道課にて作成 (Vertical handwritten notes)

昭和四十三年六月二十八日

外務省

から、（国）、（駐日米大使）、（アンガ）、（高等）、（官）

務官の出席する予定である。

秘  
発表まで

沖繩に関する日米協議委員会第十四回会合の  
開催について（案）

昭和四十三年七月一日

- 一 沖繩に関する日米協議委員会第十四回会合は、七月一日午前十時から日本側三木外務大臣、田中総務長官、米国側ジョンソン駐日米国外使、アングー高等弁務官出席の下に外務省で開かれた。
- 二 今回の会合においては、まず沖繩と本土との一体化に関連する問題について、次のとおり意見の交換が行なわれた。  
アングー高等弁務官より、日米琉諮問委員会の本年三月一日発足以来の活動に関する報告を行ない、日米双方とも諮問委員会の活動が沖繩と本土との一体化の促進に大きく貢献していることに満足の意を表明した。  
続いて、田中総務長官より、日本政府の一体化に関する考え方を説明し、今後日米琉三政府の緊密な協力の下に、総合的、かつ、

組織的に具体的な一体化施策を講じて行く必要があることを強調した。

ジョーンソン大使は、これを歓迎するとともに、米側としても今後一体化の進展に伴い生ずべき諸問題につき、弾力的な態度で協力する旨述べた。

三 さらにジョーンソン大使は、今後の一体化の具体的計画における日本政府援助の重要性を強調し、今秋でできるだけ早い時期に、日本側の来年度援助の具体的な考え方を示されることが望ましいと述べた。これに関連して同大使は、保健及び社会福祉の面での一体化に重点をおいてほしい旨要望し、日本側よりそれらの点を含めて今後十分検討して行きたいと述べた。

四 国政参加問題について、三木外務大臣及び田中総務長官より、この段階においてなんらかの形で沖縄住民の国政参加が望ましいので、日本側としても、法律上の問題等国内的な問題の解決につき検討し

ている旨述べ、米国政府においても、その早期実現につき、好意的配慮をしてほしいと要請した。それに対しジョンソン大使は、国政参加問題は米国政府にとつても多くの困難な問題を含んでおり、この場で日本側の要請に対する明確な回答をすることはできないが、米国政府としては、日本側の検討の結果を逐次通報してほしい旨答えた。